

令和6年第1回

大河原町議会定例会（3月会議）

総括質疑

大河原町議会

令和6年第1回大河原町議会定例会（3月会議）

総括質疑

No.	質問者	質疑事項及び要旨
1番	万波孝子	<p>1. 会計年度任用職員について 令和6年度当初予算時点における町職員数の状況は一般職員数は前年度比12人増の332人。内訳は正職員は前年度比5人増の200人。会計年度任用職員は前年度比7人増の132人となっている。</p> <p>(1) 全職員に占める会計年度任用職員の割合は39.76%（前年度39.06%）となっている。この状況をどのように受け止めているか。</p> <p>(2) 会計年度任用職員132人は各課にどのように配置されているか。フルタイム、フルタイム以外に分けて示してほしい。</p> <p>(3) 会計年度任用職員132人は女性が大半を占めているが男女の割合はどうなっているか。</p> <p>(4) 本来正職員を配置すべき部署に会計年度任用職員を配置している状況はあるのかないのか。国の適正化計画に沿って正職員削減政策が進められていないか。併せて本町の定員適正化計画について伺う。</p> <p>2. 物価・原油高騰から町民を守る支援策について 原油価格・物価高騰で町民の生活や事業者の経営状況は、コロナ禍以降昨年より確かに回復傾向は見られるものの、町内を歩くと依然として今なお厳しい状況に直面する。現状では増加しているふるさと納税を一部有効活用し、飲食業はじめ地元小規模事業者や在宅で介護を受けている高齢者や障がい者（通所を含む）世帯、高齢者世帯等を対象にした支援策は考えられないか伺う。</p> <p>3. 「こども家庭センター」の設置について すでに3月号「広報ogawara」で周知されているが、本年4月から子ども家庭課（3階）の子ども家庭総合支援拠点と健康推進課（1階）の子育て世代包括支援センターを統合した「こども家庭センター」を子ども家庭課内に設置し、役場組織を一部見直し、より効率的に効果的な業務を遂行するとしている。</p> <p>(1) 子ども家庭総合支援拠点としての役割と子育て世代包括支援センターとしての役割を考えれば同じフロアに健康推進課と子ども家庭課を隣り合わせに配置するべきであり、町民へのサービス向上や利便性、業務の効率化のためにも必要だったと考えるが見解を伺う。</p> <p>4. ワクチン接種一部助成について 新型コロナウイルスワクチン接種については、65歳以上を対象とする定期接種となることから、費用の一部助成を行うとしているが</p> <p>(1) 助成額はいくらになるのか。</p> <p>(2) 65歳以下は任意接種となり、原則自己負担となる。コロナワクチンは高額と聞いている。命を守るためにも、負担軽減を図るためにも接種希望者に町独自で一部助成を考えていくべきでないか。</p> <p>5. 「ママのおでかけタクシー券助成事業」について 令和6年度から妊産婦の外出を支援する「ママのおでかけタクシー券助成事業」を新たに開始するとしている。予算額は130万円。</p>

No.	質問者	質疑事項及び要旨
1 番	万波孝子	<p>(1) 妊産婦支援事業として評価するが実施を決めた理由は。</p> <p>(2) 往復を考えた上での助成だと思いが助成額はいくらか。さらに要綱の内容について伺う。</p> <p>6. 白石川右岸河川敷等整備について 堤内地（田んぼ側）に賑わい交流拠点施設の盛土造成等工事（5.89ha）154,000千円を計上し、令和8年度までの予定でこの事業が本格的に開始する事になっている。</p> <p>(1) 白石川右岸河川敷等整備について官民連携手法導入可能性調査の結果を基に民間活力の導入を目指すとしているが、調査の結果はどうだったのか。</p> <p>(2) 現時点で「賑わい交流拠点施設」に関する事業費やランニングコストは概ねどの位と見込んでいるのか。</p> <p>(3) 「賑わい交流拠点施設」整備の内容について変更が生じているのか現状について。町民に対し施設の概要版を作成し周知していくべきでないか。</p> <p>7. 地元企業育成に力を 令和6年度に行われる公共工事の一つに金ヶ瀬小学校校舎及び屋内運動場の外壁等の改修工事195,200千円に着手するとしている。</p> <p>(1) この工事が受注できる資格を有する業者はSランクになる予定か。資格要件について。</p> <p>(2) これから本格的に工事に着手する大型公共事業の「賑わい交流拠点施設」整備が始まるが、入札に参加できるのはSランクだけになるのか。併せて元請業者から地元の下請け・孫請け業者に仕事が回るような対策はとれないのか。町として公共工事は地元企業育成の観点から最大限努力することが強く求められていると思うが、町の姿勢について伺う。</p> <p>(3) 現在、町内でAランク、Bランク、Cランク企業は各々何社になっているのか。</p> <p>8. 「土曜子供塾」について 「土曜子供塾」は令和4年度から実施されている。3年目に入るが、実施は中央公民館と金ヶ瀬公民館の2か所で実施している。今後、南小学校区においても公共施設の一角を借りる等で実施できるよう努力していくべきでないか。見通しについて。</p> <p>9. 総合体育館等スポーツ施設の指定管理者について 令和6年度から総合体育館等スポーツ施設管理運営の委託先は新たに「おおがわらスポーツまちづくり協同事業体」が担うことになった。</p> <p>(1) 町民への周知は万全か。</p> <p>(2) 令和6年度の委託料は57,600千円になっている。内訳は。</p> <p>(3) 職員体制は。技能を習得している専門職員は何人配置されるのか。さらにNPO職員は何人採用されたのか。</p>

No.	質問者	質疑事項及び要旨
1 番	万波孝子	<p>(4) テニスコートも業務委託に入っていると思うが、指導や教室開催ができる状況になっているのか声も届いているので伺う。</p> <p>10. 大河原町水道事業窓口業務委託について</p> <p>3月1日の全員協議会で「大河原町水道事業窓口業務委託について」課長から必要性について説明があった。</p> <p>令和7年4月から令和12年3月までの5か年間上下水道課に関する窓口及び電話受付業務や滞納整理及び給水停止業務など、すでに委託している水道メーター検針業務に加え、新たに5つの業務を民間委託するというもの。そのために、令和6年度中に公募型プロポーザルによる業者選定や決定業者との契約締結を行うとしている。</p> <p>(1) 今回の方針は国・県からの指導を受けてのことなのか。</p> <p>(2) 窓口業務委託は同じフロアで町職員と民間職員が一緒に机を並べて業務することについて</p> <p>①守秘義務はどのように担保されるのか。</p> <p>②職員間の意思疎通等不安を抱かないための手立ては。</p> <p>③さらに庁舎内に民間委託業務が拡大することが懸念されるが見解は。</p> <p>(3) 民間委託に移行したい理由として、水道の経営は今後厳しくなる等を挙げているが、民間委託による経費削減額ほどの位になる見込みか。民間委託による職員減は何名になるのか伺う。</p>
2 番	大沼常次	<p>1. 生活環境、住民自治分野の施策について</p> <p>(1) 環境政策について本年度、町環境基本計画を見直し、様々な取り組みを実行すると述べられている。見直しの背景と、具体的な施策は何か。そして、新年度予算のどこに反映されているのか。</p> <p>(2) 町の広報活動では、「広報おおがわら」「おしらせばん」町ホームページ、公式YouTubeチャンネル、公式LINE等を活用して積極的な情報発信を図っていると述べられている。広報活動の一層の努力を期待したいが、反面、広聴活動については新規の取り組みがないのは残念である。広報活動と広聴活動は車の両輪の関係にあると思っている。庁舎の「町政ご意見箱」についても、人知れず部屋の片隅に置かれ、来庁者は設置してあることを気づくことはほとんどない。</p> <p>提案であるが、玄関ホールの中央に大型の町長顔入りパネル作成し、その下に「あなたの意見を聞きたい」旨のご意見箱を設置することにより、町(町長)が町民からの声を聴きたがっているという姿勢をアピールすることができると思うが、如何か。</p> <p>(3) 町は施策を進めるにあたり、パブリックコメントの募集を町HPや広報紙を通して行っているが、投稿者は大変少ない、あるいは全くないような状況と聞く。このような町民の町政に対しての関心の希薄さをどのように捉えているか。</p> <p>(4) 町総合体育館等スポーツ施設の指定管理者が新たな団体に移管される中で、今後の総合型地域スポーツクラブの進捗が気になりである。現行の指定管理者の下でどうにか組織を立ち上げ、活動がスタートしたばかりの時期に、新たな指定管理者がこの活動を引き継ぐ形になっているとはいえ、</p>

No.	質問者	質疑事項及び要旨
2番	大沼常次	<p>今後の活動については現会員はじめ、関係者も不安があることと思われる。町総合型地域スポーツクラブの展望について説明願う。</p> <p>2. 子育て・健康福祉分野について</p> <p>(1) 新年度に「こども家庭センター」を子ども家庭課内に設置することになっているが、対象者が18歳未満であり、その業務内容が広範で現行役場組織を横断・有機的に駆使しなければセンターの設置目的は果たせないと思われる。その中でも重要と思われるのが資質をもった統括支援員の存在であると思われるがその点については問題ないか。また、新年度、子ども家庭課内の陣容はどのように編成したのか。</p> <p>3. 都市計画・街づくり分野について</p> <p>(1) 白石川右岸河川敷整備事業において、堤内地での盛土造成等工事に着手することであるが、そもそも賑わい交流拠点施設の青写真がはっきりしない中で、盛土造成がどのような完成形になるのか説明がない。施設とそれを取り巻く関連施設等の青写真がない中で、盛土は階段の形なのか、それとも傾斜型なのか具体的な説明がない。どの場面で説明するのか。</p> <p>(2) 5年度に官民連携手法導入可能性調査のために業務委託を行っているが、可能性調査であるので、その調査結果が「可能性は不可」となるかもしれない。「可能性は可」の前提で考えているようだが、4年度に行ったサウンディング調査では「事業性は厳しい」との調査結果がでている。事業を推進したいのは理解できるが、大型公共工事であり、初期投資および後年度負担等も考えて、拙速な施策進行に留意をしなければならないと思うが如何か。</p> <p>(3) 道路施設の維持管理については行政区からの要望も多くあり、修繕等は優先度を設け、順次適切に対応すると述べているが、新年度の予算では舗装補修等工事は6千6百万円付いているが、去年は1億3千万円だった。去年の半分の予算。町民からは、言っていることと中身が違うと言われかねない。誤解を生まないよう、丁寧な説明が必要だと思うが如何か。</p> <p>(4) 上水道事業について、「経営戦略の見直し」を行うと述べているが、具体像が見えず説明が必要である。また、能登半島地震では今現在でも1万戸以上が断水になっている。町では水道施設や管路の耐震化を進めているが、再び東日本大震災級の地震が発生した場合、断水の発生個所数や断水期間等のシミュレーションはしているのか。</p> <p>4. 学校教育・生涯教育分野について</p> <p>(1) 中学校における休日の部活動の地域移行問題について、教育委員会は議会に対してまとまった説明をしてこなかったのはなぜか。必要ではないか。</p> <p>(2) 新年度の町長施政方針の中で、今回もまた、文化・芸術の振興、発展についての創造性ある未来に向けた記述がなかったのは大変残念である。それを裏付けるように新年度予算についても、特段目を引かれるものはない。大河原町は地政学的に仙南の中心性・拠点性・利便性が近隣の市町に比べて優位にあると言われている。そして町のプライドとしてのキャッチフレーズ「先進のまち」も忘れてはいけない。そして、何よりも「We 1</p>

No.	質問者	質疑事項及び要旨
2番	大沼常次	<p>「l-being」を目指すのであれば、スポーツも大切であるが、同等に文化・芸術活動を通して、町民に楽しさや感動、精神的な安らぎや生きる喜びをもたらし、人生を豊かにしてもらうことが最も大切であると考えている。</p> <p>文化・芸術は豊かな人間性を涵養し、創造性を育み、人間の感性を育てるほか、他者に共感する心を通じて、他人を尊重し、考えを異にする人々と共に生きる資質をはぐくむものです。これこそが「心のWell-being」ではないかと思うが、如何か。そして、「大河原町は文化・芸術の盛んなまち」と自負したい。</p>